

広報活動による相互利益の実現に向けて ～職員有志による広報ワーキングチームの挑戦～

北海道森林管理局 広報ワーキングチーム 渡邊 大地 阿部 達矢

取組の背景・目的

私たちには国民の負託を受け国有林を守り育てるとともに、これらの森林・林業について広く国民の皆さんに理解を深めてもらうための広報活動が求められています。しかし、北海道森林管理局（以下「道局」）の広報担当は数名であり、また、必ずしも担当者が情報発信の精通者とは限らない中、その活動が十分とは言えない状況でした。

一方、森林管理署には、若手を中心に動画・写真撮影、演劇やイラスト製作など様々な特技をもった職員がおり、それぞれのアイデアを持ち寄ることができれば、更なる広報活動の活性化につなげられる可能性があります。

そこで道局では令和4年度に、従来の広報担当者の枠に留まらない取組を進めていくため、広報に関心を持つ職員の活動の場として「広報ワーキングチーム」（以下「広報WT」）を設置、公募により約20名の有志が参加し、この「広報クリエイター集団」とも言うべくチームの活動がスタートしました。

取組の内容・成果

広報WTメンバーにはそれぞれの「本務」があり、活動に割ける時間も限られるため、各種取組についてのディスカッションの場として随時「WEBミーティング」等を開催しています。①広報動画製作、②地域・企業等とのタイアップ、③学校とのコラボ、④登山者への情報発信という4つの検討課題を立て、その実現に向けて創意工夫しながら取組を進めているところです。

この中で「登山者への情報発信」では、鳥獣戯画を模したキャラクターが軽妙な語り口で注意喚起を行うキーホルダー型豆本を製作しました。これは従来、パンフレットで行っていたものを、登山の邪魔にならず、いつでも携帯し読んでもらえるように工夫したものです。秋の登山道整備等イベントで配布したところ大変好評だったことから、来シーズンの本格活用に向け、より効果的な配布方法と、その効果の検証方法について検討しているところです。



今後の展開

活動開始から3年となりました。広報動画や豆本など様々なコンテンツを作成しているものの、これらを普及させるための「発信力の強化」はまだ始まったばかりです。令和6年10月には北海道局SNSを開設し、今後、幅広い年齢層に対し積極的な情報発信を進めていくこととしています。

広報活動は相手に必要な情報を届け、その相手から私たちも協力を得る「相互利益」が実現できる取組です。この広報WTの取組を一過性のものとせず、様々な職員の協力を得てノウハウを継承し、活動を継続・発展させていくとともに、「自由で柔軟な発想と行動力」を武器にコンテンツを充実させ、発信力をさらに高めることに挑戦していきたいと考えています。